

熊取アトムサイエンスパーク構想シンポジウム

新材料からがん治療まで

～ 原子力の医療と産業への新展開 ～

入場無料

第1部：午後3時30分～4時10分

来賓挨拶 松浪健四郎(文部科学副大臣)

構想の概要説明

「熊取アトムサイエンスパーク構想について」
上垣 正純(熊取町長)

基調講演

「原子力科学の新たな展開」

代谷 誠治

(京都大学原子炉実験所長)

2007年12月3日(月)

午後3時30分～5時45分

グランキューブ大阪(大阪国際会議場)
特別会議場(12階)

大阪市北区中之島5-3-51

TEL: 06-4803-5555

主催

熊取町

大阪府

京都大学

後援

文部科学省(申請中)

近畿経済産業局

第2部：午後4時20分～5時45分

パネルディスカッション

「社会に役立つ粒子線・放射線科学の拠点づくり」

<コーディネーター>

東嶋 和子(サイエンスジャーナリスト)

<パネラー>

代谷 誠治(京都大学原子炉実験所長)

中山 武典(株神戸製鋼所材料研究所研究首席)

平塚 純一(川崎医科大学放射線科(治療)准教授)

申込み・問合せ先

シンポジウムへの参加については、裏面の「参加申込書」を下記までFAX、郵送していただくか、電子メールに必要事項を記入してお申込みください。(先着順・200名程度)

〒590-0495 大阪府泉南郡熊取町野田1-1-1

「熊取アトムサイエンスパーク構想シンポジウム」実行委員会(熊取町 政策推進部 企画課)宛

TEL: 072-452-1001 FAX: 072-452-7103 メールアドレス kikaku@town.kumatori.lg.jp

熊取町、大阪府、京都大学では、熊取町に立地する京都大学原子炉実験所の研究成果を地域社会や産業に還元することをめざす「熊取アトムサイエンスパーク構想」に取り組んでいます。

原子力科学は、新材料の開発やがん治療など、国民生活の幅広い分野での貢献が期待されていますが、このシンポジウムでは、中性子をはじめとする粒子線・放射線の可能性について、わかりやすくご紹介します。

講演者・パネリスト等のプロフィール

()50音順、敬称略



代谷 誠治 (京都大学原子炉実験所長)

1974年京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。京都大学原子炉実験所原子力基礎工学研究部門教授、所長。京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻教授。主に臨界集合体実験装置(KUCA)を用いた炉物理研究・教育に従事。



東嶋 和子 (サイエンスジャーナリスト) <コーディネーター>

元読売新聞本社科学部記者。1991年よりフリーランスとして、生命科学、医療、環境、エネルギー、科学技術などの分野で「いのち」をキーワードに科学と社会の関わりを追っている。『よみがえる心臓』『放射線利用の基礎知識』『遺伝子時代の基礎知識』『死因事典』『この病院で最新治療』など著書多数。



中山 武典 (㈱神戸製鋼所材料研究所研究首席)

1982年東北大学大学院工学研究科金属材料工学専攻博士過程終了、工学博士。同年、(株)神戸製鋼所に入社し、現在、同社材料研究所研究首席。専門は、腐食防食、表面制御工学。



平塚 純一 (川崎医科大学放射線科(治療)准教授)

1981年神戸大学医学部卒業後、同大学医学部放射線医学教室に入局、兵庫県立成人病センターを経て、川崎医科大学放射線科(治療)准教授。医学博士。専門は前立腺癌の放射線治療、癌中性子捕捉療法。

会場のご案内

シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」と各ターミナル(JR「大阪駅」中央北口、地下鉄・京阪「淀屋橋駅」西詰)の間で運行しており、ご利用いただけます。

JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」(2番出口)、
阪神電鉄「福島駅」、
大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)
各駅から徒歩10分

JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津橋行
又は55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ



参加申込書

「熊取アトムサイエンスパーク構想シンポジウム」実行委員会(熊取町 政策推進部 企画課)宛
FAX: 072-452-7103 申込み締め切り: 11月22日(木)

ふりがな 氏名		会社・団体名	
TEL	() -	部署(役職)	()
ふりがな 氏名		会社・団体名	
TEL	() -	部署(役職)	()

ご記入いただいた個人情報は当シンポジウムにおける事務処理にのみ使用し他の目的には使用いたしません。